


施設カルテ①

基準日： 令和5年4月1日

施設基本情報

施設名称	毛野体育館		施設外観		
施設概要	アリーナ、事務室、会議室、体育器具室、清掃器具庫、男女トイレ、男女更衣室、身障者トイレ				
設置目的	市民のスポーツ及びレクリエーションの推進を図り、健康で明るい市民生活に寄与するため				
設置根拠（設置条例等）	足利市毛野体育館条例、足利市毛野体育館条例施行規則				
所在地	山川町55-1				
施設運用開始日	平成2年3月25日	施設運用終了日			
所管部	教育委員会事務局	所管課		市民スポーツ課	
分類	大分類	スポーツ・レクリエーション系施設		運営形態	直営
	中分類	スポーツ施設		防災拠点指定等	
	小分類	体育館		配置形態	単独施設
校区	小学校区	毛野南小学校		借地の状況	借地なし
	中学校区	毛野中学校	財産区分	行政財産	
土地	用途地域	準工業地域	目的外使用	無	
	駐車場台数	50 台	建築面積	1,164.29 m ²	
	敷地面積	2,964.77 m ²	合計延床面積	1,164.29 m ²	
			法定容積率	200 %	
			法定建ぺい率	60 %	

財務情報

【市の収入・支出】(千円)

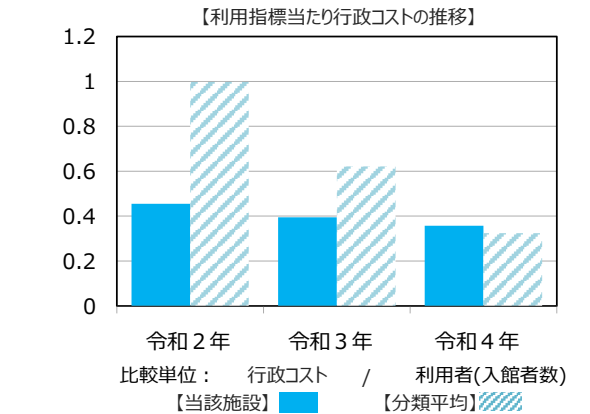
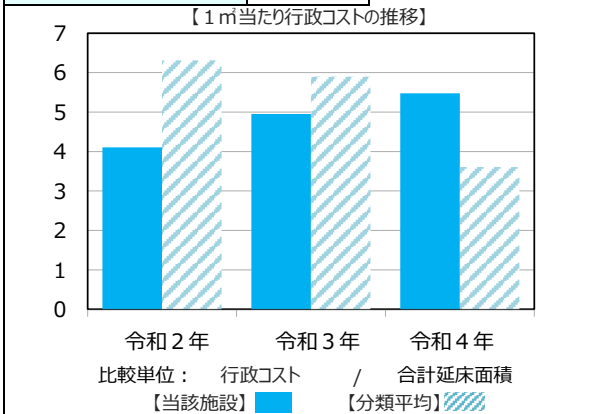
項目/年度	令和2年	令和3年	令和4年	
歳出 (A)	4,986	6,156	6,770	
光熱水費等	1,063	1,243	1,619	
修繕料	44	12	350	
維持保全費	886	189	209	
指定管理料	0	0	0	
その他	0	0	0	
土地・建物の使用料	0	0	0	
人件費	維持管理	2,800	4,500	4,500
	事業運営	0	0	0
事業運営費	194	213	91	
歳入 (B)	209	391	394	
使用料	209	391	394	
財産収入	0	0	0	
国県支出金	0	0	0	
その他	0	0	0	
収支(A-B)	4,777	5,766	6,376	
対前年度比(%)		20.7	10.6	

【指定管理者の収入・支出】(千円)

項目	令和2年	令和3年	令和4年
歳出 (C)	0	0	0
光熱水費等	0	0	0
修繕費	0	0	0
維持保全費	0	0	0
その他	0	0	0
土地・建物の使用料	0	0	0
事業運営費	0	0	0
人件費	0	0	0
歳入 (D)	0	0	0
指定管理料	0	0	0
利用料金等	0	0	0
自主事業	0	0	0
その他	0	0	0
収支(C-D)	0	0	0
対前年度比(%)			

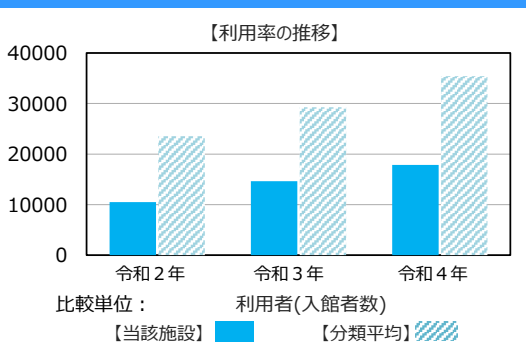
1㎡当たりの行政コスト	令和2年	令和3年	令和4年
[収支(A-B)/合計延床面積]	4.1	5.0	5.5
平均に使用する分類	中分類		

利用指標当たりの行政コスト	令和2年	令和3年	令和4年
[収支(A-B)/利用指標]	0.5	0.4	0.4



施設サービス供給状況

利用指標	単位	令和2年	令和3年	令和4年	対象	
1	利用者(入館者数)	人	10,489	14,619	17,860	◆
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						



施設カルテ②

基準日: 令和5年4月1日

建物基本情報

No	棟名称	主体構造	建築年	法定耐用年数	残存耐用年数	階数		延床面積
						地上	地下	
	バリアフリー			耐震基準	改修履歴			
車椅子用エレベーター	施設玄関口スロープ	身障者用トイレ	令和2年		令和3年	令和4年		
1	毛野体育館	鉄骨造	平成2年	34年	1年	1	0	1164.29 m ²
	不要	有	有	新耐震				
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

自由記載欄

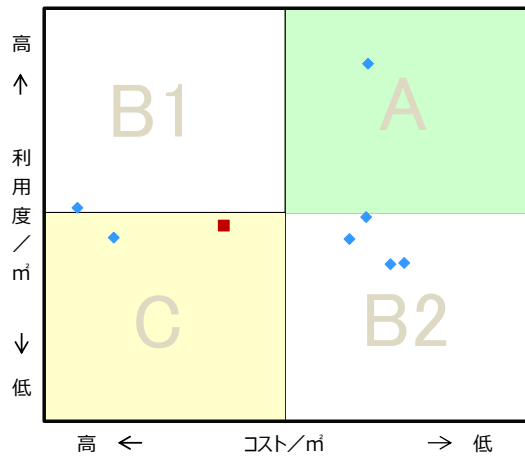
--

平均に使用する分類

中分類

費用対効果分析 (mあたり利用度とmあたりコスト)

【費用対効果分析 (建物基本情報調査による定量的な分析)】
○費用対効果分析 (mあたりコストとmあたり利用度)



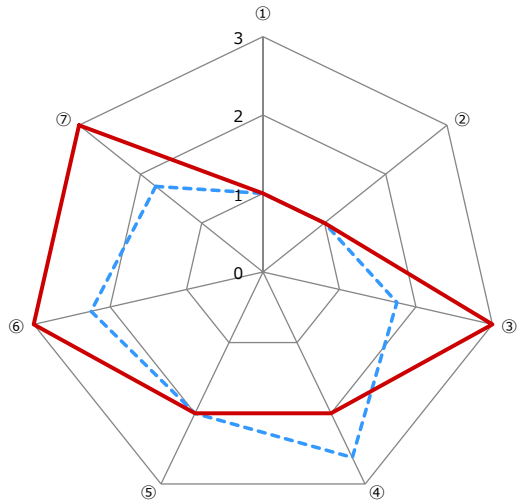
区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B 1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B 2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例 ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象 (分類) の他施設

・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の移動平均値である。

施設分析

【施設性能評価】
施設管理者アンケートによる定性的な評価



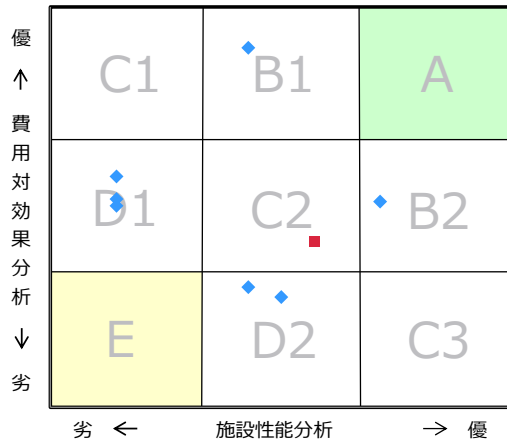
番号	項目	チェックポイント
①	外壁	竣工・修繕後の経過年数と維持管理・劣化状況
②	屋上防水	竣工・修繕後の経過年数と維持管理・劣化状況
③	給排水設備	竣工・修繕後の経過年数と維持管理・劣化状況
④	空調設備	劣化状況と運転状況
⑤	老朽化状況	設定耐用年数からの残存年数による判断
⑥	耐震化状況	耐震基準、耐震診断実施状況
⑦	バリアフリー対応等	「出入口 (スロープ)、エレベーター、トイレ」についての対応状況

凡例 — 当該施設 - - - 比較対象 (分類) の他施設

施設性能評価の考え方	不良 <-----> 良好
レーダーチャートの大きさ	小 <-----> 大

施設評価

【一次評価 (費用対効果/施設性能)】



区分	対応	方向性の考え方
A	継続	長寿命化を基本とする
B 1	向上	施設性能の向上を検討する
B 2	向上	費用対効果の向上を検討する
C 1	改善	施設性能の改善を検討する
C 2	改善	施設性能と費用対効果, 両方の改善を検討する
C 3	改善	費用対効果の改善を検討する
D 1	見直し	施設性能の見直しを検討する
D 2	見直し	費用対効果の見直しを検討する
E	要見直し	施設性能と費用対効果, 両方を見直しが必要である

凡例 ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象 (分類) の他施設